

JCOG 術後合併症規準(Clavien-Dindo 分類) ver 2.0 - 2013 年 4 月 11 日版 新旧対照表

取り消し線部を削除、青字下線部の追加

変更箇所		変更内容		変更理由
		旧 (ver 1.0)	新 (ver 2.0)	
「作成経緯、使用上の注意」ファイル	表紙	JCOG 運営委員会承認 2011 年 9 月 20 日	JCOG 運営委員会承認 ver1.0 2011 年 9 月 20 日 第 1 回改訂承認 ver2.0 2013 年 4 月 11 日	バージョン情報、承認日追加
Clavien-Dindo 分類	ヘッダー	JCOG 術後合併症規準(Clavien-Dindo 分類)	JCOG 術後合併症規準(Clavien-Dindo 分類) v2.0 (2013 年 4 月 11 日承認)	バージョン情報、承認日追加
Clavien-Dindo 分類 — CTCAE 対比表	ヘッダー	JCOG 術後合併症規準(Clavien-Dindo 分類) — CTCAE v4.0 対比表	JCOG 術後合併症規準(Clavien-Dindo 分類) v2.0 — CTCAE v4.0 対比表 (2013 年 4 月 11 日承認)	バージョン情報、承認日追加
全体		以下の薬剤表記 制吐剤、解熱剤、鎮痛剤、利尿剤、利胆剤、抗生剤、緩下剤、膵酵素阻害剤、ビタミン剤	制吐剤、解熱剤、鎮痛剤、利尿剤、利胆剤、抗生剤、緩下剤、膵酵素阻害剤、ビタミン剤	ガイドラインに合わせて、「剤」を「薬」に統一
全体		句読点「、」	文章が区切れる箇所は「、」に修正	記載の統一による修正
Clavien-Dindo Grade	Grade IVa	Iva	I Va	誤記修正
Grading の原則	Grade I	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVR 治療を要さないもの。ただし、制吐剤、解熱剤、鎮痛剤、利尿剤による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含めない(これらが必要と判断されたり行われたりしていても Grade I とする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放は Grade I とする。	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVR による 治療を要さないもの。ただし、制吐剤、解熱剤、鎮痛剤、利尿剤による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含めない(これらが必要と判断されたり行われたりしていても Grade I とする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放は Grade I とする。	語句の補足
Grading の原則	Grade IIIa	外科的、内視鏡的、IVR 治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVR による 治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	語句の補足
Grading の原則	Grade IIIb	外科的、内視鏡的、IVR 治療を要する(全身麻酔下での治療)。	外科的治療、内視鏡的治療、IVR による 治療を要する(全身麻酔下での治療)。	語句の補足
脳卒中	Grade II	抗凝固薬治療などの内科的治療を要する	抗凝固薬治療などの内科的治療を要する	記載の統一による修正
反回神経麻痺	Grade IIIb	全身麻酔下での治療を要する(鎮静下気管切開を含む)	全身麻酔下での治療を要する(鎮静下 での 気管切開を含む)	記載の統一による修正

変更箇所		変更内容		変更理由
		旧 (ver 1.0)	新 (ver 2.0)	
虚血性心疾患	Grade II	抗凝固薬治療などの内科的治療を要する	抗凝固薬治療などの内科的治療を要する	記載の統一による修正
心嚢液貯留／肺瘻／乳び胸／胸水／腹水／腸管瘻／胃管壊死／臍液瘻／胆汁瘻／消化管縫合不全／Seroma／腹腔内膿瘍／骨盤内膿瘍／縦隔炎／膿胸／頸部乳び漏／漿液漏／乳び腹水	Grade I		(既存のドレーンによるドレナージのみ) を追加	治療の現状に合わせて追加
心嚢液貯留／乳び胸／胸水／腹水／腸管瘻／臍液瘻／胆汁瘻／Seroma／腹腔内膿瘍／骨盤内膿瘍／縦隔炎／膿胸／頸部乳び漏／漿液漏／乳び腹水	Grade IIIa	画像ガイド下ドレーン留置・穿刺を要する、既存のドレーン入れ替えも含む	画像ガイド下でのドレーン留置・穿刺を要する⇒既存のドレーン入れ替えも含む	記載の統一による修正
無気肺, 喀痰排出障害	AE Term	無気肺・喀痰排出障害	無気肺 ・ 喀痰排出障害	記載の統一による修正
無気肺, 喀痰排出障害	Grade IIIa	気管支鏡による吸引, 全麻下以外の外科的治療を要する(例: 気管穿刺など)	気管支鏡による吸引⇒ 全麻 全身麻酔 下以外の外科的治療を要する(例: 気管穿刺など)	語句の補足
気管瘻, 気管支瘻	Grade IIIa	局所麻酔下での治療を要する(胸腔ドレナージ, 内視鏡的治療, 外科的治療を要する[ステント留置, 一次縫合など]), 既存のドレーン入れ替えも含む	局所麻酔下での治療を要する(胸腔ドレナージ, 内視鏡的治療, 外科的治療を要する [ステント留置, 一次縫合など]), 既存のドレーン入れ替えも含む	治療の現状に合わせて修正
肺瘻	Grade II	胸膜癒着術などの内科的治療を要する	胸膜癒着術などの内科的治療を要する	治療の現状に合わせて修正
肺瘻	Grade IIIa	局所麻酔下での治療を要する(胸腔ドレナージ, 内視鏡的治療, 外科的治療を要する[ステント留置, 一次縫合など]), 既存のドレーン入れ替えも含む	局所麻酔下での治療を要する(胸腔ドレナージ, 内視鏡的治療, 外科的治療を要する [ステント留置, 一次縫合など]), 癒着薬の胸腔内投与 など); 既存のドレーン入れ替えも含む	治療の現状に合わせて修正
肺瘻	Grade IIIb	全身麻酔下での治療を要する	全身麻酔下での治療を要する(肺瘻閉鎖術, 癒着術)	治療の現状に合わせて修正
Clavien-Dindo 分類 — CTCAE 対比表 [CTCAE]肺瘻		Clavien-Dindoに対応するCTCAE AE termは気管瘻/気管支瘻/肺瘻 となっている	対応するCTCAE AE termは肺瘻のみに修正, 気管瘻/気管支瘻は削除	誤記修正

変更箇所		変更内容		変更理由
		旧 (ver 1.0)	新 (ver 2.0)	
乳び胸	Grade I	ドレーン排液や胸水穿刺液の乳び所見のみ	ドレーン排液や胸水穿刺液の乳び所見のみ <u>で治療を要さない(既存のドレーンによるドレナージのみ)</u>	治療の現状に合わせて追加
嚥下障害	Grade I	症状があるが、通常食の摂取が可能	症状があるが、通常食の摂取が可能 <u>臨床所見のみで治療を要さない</u>	Gradingの規準となる、必要な処置を記載
嚥下障害	Grade II	症状があり、摂食/嚥下に影響がある補助的な経管栄養管理、経静脈的栄養管理(TPNを含む)を要する	症状があり、摂食/嚥下に影響がある補助的な経管栄養管理、経腸的/経静脈的栄養管理(TPNを含む)を要する	Gradingの規準となる、必要な処置を記載
嚥下障害	Grade IIIa	摂食が不可能なほどの嚥下障害があり、局所麻酔下での治療を要する(気管穿刺や内視鏡下での胃瘻造設など)	摂食が不可能なほどの嚥下障害があり、局所麻酔下での治療を要する(気管穿刺や内視鏡下での胃瘻造設など)	Gradingの規準となる、必要な処置を記載
逆流性食道炎/麻痺性イレウス/閉塞性イレウス/消化管縫合不全/消化管吻合部狭窄	Grade II		<u>(TPNを含む)</u> を追加	治療の現状に合わせて追加
麻痺性イレウス 閉塞性イレウス	Grade I	臨床所見または検査所見を認めるが、緩下剤以外の内科的治療や経静脈的栄養管理を要さない	臨床所見または検査所見を認めるが <u>のみ</u> <u>で、緩下剤</u> 以外の内科的治療や経静脈的栄養管理を要さない	記載の統一による修正
麻痺性イレウス 閉塞性イレウス	Grade IVa	腸管の広範壊死、または人工呼吸管理を要する肺障害、CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	腸管の広範壊死、または人工呼吸管理を要する肺障害、CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	記載の統一による修正
腓液瘻	AE Term	腓液漏	<u>腓液漏瘻</u>	誤記修正
胆汁瘻	Grade II	抗生剤など内科的治療を要する	<u>抗生剤</u> <u>菌薬</u> などの内科的治療を要する	記載の統一による修正
胆嚢炎	Grade I	臨床所見または検査所見を認めるが、利胆剤以外の内科的治療を要さない	臨床所見または検査所見を認めるが <u>のみ</u> <u>で、利胆剤</u> 以外の内科的治療を要さない	記載の統一による修正
消化管縫合不全	Grade IIIa	画像ガイド下ドレーン留置・穿刺を要する、既存のドレーン入れ替えも含む	画像ガイド下ドレーン留置・穿刺を要する、既存のドレーン入れ替えも含む <u>開創によるドレナージ</u> や既存のドレーン入れ替えも含む	治療の現状に合わせて修正
尿道損傷 膀胱損傷	後遺症"d"の補足説明	尿道カテーテル留置のまま退院	尿道 <u>路</u> カテーテル留置のまま退院	記載の統一による修正
術後出血	Grade II	輸血あるいは内科的治療を要する	輸血 <u>あるいは</u> <u>または</u> 内科的治療を要する	記載の統一による修正
術後出血	Grade IIIa	局所麻酔下での外科的止血術あるいは内視鏡やIVRによる止血術を要する	局所麻酔下での外科的止血術あるいは <u>または</u> <u>は</u> 内視鏡やIVRによる止血術を要する	記載の統一による修正

変更箇所		変更内容		変更理由
		旧 (ver 1.0)	新 (ver 2.0)	
子宮腔吻合部漏出	後遺症”d”の補足説明	子宮(腔吻合部(異なる2つの解剖学的構造の外科的接合の縫合不全によるリーク)の継続	子宮 腔 吻合部(異なる2つの解剖学的構造の外科的接合)の縫合不全によるリークの継続	誤記修正
腹壁癒痕ヘルニア創し開	Grade IVa	腸管の広範壊死, または人工呼吸管理を要する肺障害, CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	腸管の広範壊死 、または 人工呼吸管理を要する肺障害 、 CHDFを要する腎障害など1つの臓器不全	記載の統一による修正
感染性子宮頸管炎	AE Term	感染性子宮頸管炎	感染性子宮頸 部 管炎	記載の統一による修正
子宮感染	Grade IIIa	頸管の局所麻酔下もしくは無麻酔でのブジーを要する	頸管 の 局所麻酔下もしくは無麻酔での ブジー 頸管ブジー、 <u>ドレナージ</u> を要する	治療の現状に合わせて修正
外陰部感染	Grade IIIb	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ, 再皮弁, 再筋皮弁)	全身麻酔下での治療を要する(ドレナージ, <u>再皮弁, 再筋皮弁</u> 皮弁形成, 筋皮弁形成)	誤記修正
創感染	Grade I	臨床所見または検査所見を認めるが, ベッドサイドでの創開放や創洗浄以外の治療を要さない	臨床所見または検査所見を認めるが <u>のみ</u> で, ベッドサイドでの創開放や創洗浄以外の治療を要さない	記載の統一による修正
インプラント感染	Grade IIIa	局所麻酔下での治療を要する(切開排膿やインプラント除去など)	局所麻酔下での治療を要する(切開排膿 <u>ドレナージ</u> やインプラント除去など)	記載の統一による修正
尿失禁 残尿, 尿閉	Grade I	導尿, 尿路カテーテル留置を要する	導尿 、 <u>または</u> 尿路カテーテル留置を要する	記載の統一による修正
尿失禁 残尿, 尿閉	後遺症”d”の補足説明	在宅での自己導尿が必要な状態が持続	在宅での自己導尿/ <u>介助導尿</u> が必要な状態が持続; <u>尿路カテーテル留置のまま退院</u>	補足追加
残尿, 尿閉	AE Term	残尿・尿閉	残尿 、 尿閉	記載の統一による修正
勃起障害	Grade II	PDE5 阻害薬などの内科的治療を要する	PDE5 阻害薬などの内科的治療を要する(<u>血管作動薬の陰茎海綿体注入</u> など)	治療の現状に合わせて追加
勃起障害	Grade IIIa	局所または腰椎麻酔下での治療を要する	局所または腰椎麻酔下での治療を要する(<u>血管作動薬の陰茎海綿体注入</u> など)	治療の現状に合わせて修正
頸管閉鎖(子宮閉鎖)	Grade IIIa	頸管の局所麻酔下もしくは無麻酔でのブジーを要する	頸管の局所麻酔下もしくは無麻酔での ブジー 頸管ブジーを要する	治療の現状に合わせて修正
頸部乳び漏	AE Term	頸部乳び漏	頸部 頸部乳び漏	記載の統一による修正
頸部乳び漏	後遺症”d”の補足説明	頸部圧迫感の持続	頸部 頸部圧迫感の持続	記載の統一による修正
乳び腹水	Grade I	ドレーン排液や胸水穿刺液の乳び所見のみで治療を要さない	ドレーン排液や胸 水 腹水穿刺液の乳び所見のみで治療を要さない(<u>既存のドレーンによるドレナージのみ</u>)	誤記修正 治療の現状に合わせて追加

変更箇所		変更内容		変更理由
		旧 (ver 1.0)	新 (ver 2.0)	
皮下静脈炎 (Mondor 氏病)	Grade II	オピオイドの投与もしくは疼痛管理専門医による投薬, 治療を要する	オピオイドの投与もしくは疼痛管理専門医による投薬 治療 を要する	誤記修正
血栓症, 塞栓症	AE Term	血栓症/塞栓症	血栓症 塞栓症	記載の統一による修正
血栓症, 塞栓症	Grade IIIa	カテーテルによる血栓除去や IVC フィルタなど侵襲的治療	カテーテルによる血栓除去や IVC フィルタなど の 侵襲的治療 を要する	語句の補足
血栓症, 塞栓症	Grade IVa	肺・脳・心臓など, 重要 1 臓器における血栓による臓器不全	肺・脳・心臓など の 重要 1 臓器における血栓による臓器不全	語句の補足
血栓症, 塞栓症	Grade IVb	肺・脳・心臓など, 複数臓器における血栓による臓器不全	肺・脳・心臓など の 複数臓器における血栓による臓器不全	語句の補足
肩関節可動域制限	Grade II	オピオイドの投与もしくは疼痛管理専門医による投薬, 治療;リハビリテーションを要する	オピオイドの投与もしくは疼痛管理専門医による投薬 治療 を要する;リハビリテーションを要する	語句の補足
脂肪壊死	Grade I	臨床所見または検査所見を認めるが、ベッドサイドでの創開放や創洗浄以外の治療を要さない	臨床所見または検査所見を認めるが のみ で、ベッドサイドでの創開放や創洗浄以外の治療を要さない	記載の統一による修正
脂肪壊死	Grade IIIa	局所麻酔下での治療を要する(切開排膿など)	局所麻酔下での治療を要する(切開排膿 ドレナージ など)	記載の統一による修正
皮膚壊死(皮弁壊死)	Grade IIIa	デブリードメントなどの局所麻酔下での治療を要する(デブリードメント, 植皮術など)	デブリードメント などの局所麻酔下での治療を要する(デブリードメント, 植皮術など)	誤記修正(重複を削除)
皮下気腫	Grade I	臨床所見または検査所見のみで、ベッドサイドでの皮下穿刺, 胸帯などでの圧迫以外の治療を要さない	臨床所見または検査所見のみで、ベッドサイドでの皮下穿刺 や 胸帯などでの圧迫以外の治療を要さない	記載の統一による修正
皮下気腫	Grade IIIa	全身麻酔下以外で IVR による治療/外科的治療を要する(皮下ドレーン挿入など)	全身麻酔下 以外で を要さない IVR による治療/外科的治療を要する(皮下ドレーン挿入など)	記載の統一による修正
上肢浮腫 下肢リンパ浮腫	Grade II	利尿剤の内服など内科的治療を要する	利尿 剤 の内服など の 内科的治療を要する	記載の統一による修正

変更箇所		変更内容		変更理由
		旧 (ver 1.0)	新 (ver 2.0)	
その他 (該当する AE term がない場合)	Grade I	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVR 治療を要さないもの。ただし、制吐剤、解熱剤、鎮痛剤、利尿剤による治療、電解質補充、理学療法は必要とする治療には含めない(これらが必要と判断されたり行われたりしていても Grade I とする)。また、ベッドサイドでの創感染の開放は Grade I とする。	正常な術後経過からの逸脱で、薬物療法、または外科的治療、内視鏡的治療、IVR に よる 治療を要さないもの。ただし、制吐剤 薬 、解熱剤 薬 、鎮痛剤 薬 、利尿剤 薬 による 治療、電解質補充、理学療法は必要とする 治療には含めない(これらが必要と判断され たり行われたりしていても Grade I とする)。 また、ベッドサイドでの創感染の開放は Grade I とする。	語句の補足
その他 (該当する AE term がない場合)	Grade IIIa	外科的、内視鏡的、IVR 治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	外科的、 治療 、内視鏡的、 治療 、IVR による 治療を要する(全身麻酔を要さない治療)。	語句の補足
その他 (該当する AE term がない場合)	Grade IIIb	外科的、内視鏡的、IVR 治療を要する(全身麻酔下での治療)。	外科的、 治療 、内視鏡的、 治療 、IVR による 治療を要する(全身麻酔下での治療)。	語句の補足